

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型居宅介護千手	管理者	廣川 丈人

法人・事業所の特徴	地域との繋がりを大切に、概ね3km以内の方より利用して頂いております。その方の生活パターンや習慣・家族状況に応じ柔軟なサービス提供を行う事で、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていける事をお手伝いしています。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	0人	2人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	行事開催時をはじめ地域の方が戸惑わずに気軽に入出入りできるように玄関と地域交流スペースの入り口を明確に案内できるように対応する。	他の場所の会議にも出て感じるが、評価項目や内容に関して決まった内容に対してやらなくてはいけないと感じ取り組んでいる項目もあるのではないだろうか。ご利用者優先にした内容を検討して欲しい。 年度計画とリンクした内容を改善計画に盛り込めるよう検討して欲しい。	評価項目が様々ある中で、評価項目を熟す為の会議への参加になってしまう傾向があるのではないかと。それでは意味がないので、しっかりと評価が出来る内容等の項目が必要になるのではないかと思う。	事業所自己評価の理解を深める。なぜその評価が必要なのか理由を考え、根拠ある支援を実践する。
B. 事業所のしつらえ・環境	行事開催時をはじめ地域の方が戸惑わずに気軽に入出入りできるように玄関と地域交流スペースの入り口を明確に案内できるように対応する。	サポートセンター千手の入り口に案内板を設置した件について ⇒入り口の案内をされていることはわかった。案内だけではなく入りやすい環境造りも必要になって来ると思う。普段からの関わりに注意して行きたい。	案内板があることで入り口の位置は理解することが出来るが、地域交流スペースの入り口の活用がまだまだ周知出来ていないような状況にある。もっと活用してもらえ工夫が必要になる。	センターの案内だけでなくセンターの活用方法を具体的に提示し、活用しやすい環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	千手カフェをはじめ行事の内容の検討のため、地域の参加者の方から意見を聞く機会をつくる。	千手カフェの際にアンケートを実施した。アンケート内容を今後の活動や行事に活かせるように還元していきたい。	地域に知られているという基準を設ける事は難しい。会議に参加しているので知ってはいるが、地域の方々がどの程度知っているのか基準もないのでわかりにくい。相談窓口を設置し受け入れを行っていることはわかったが、「何を」「誰に」「どう」相談していいかがわかりにくい。	千手カフェ・行事を通じ、地域の方がセンターに求める内容の把握に努める。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>「地域に根ざした事業所」を目指し、ご利用者と地域の行事に参加することや地域に散歩に出掛けることを継続する。</p>	<p>散歩をしながら近隣のクリーン作戦を行った。今後も継続して散歩を行い、ゴミ拾いも継続して実施していき地域との関わりを持つ機会と地域の環境整備への貢献にもつなげていきたい。</p>	<p>地域の方を会議等に参加していただくことは難しいだろう。この項目を埋めるために無理に参加を促しても互いの為にはならない。本当の必要性を見極め、ご利用者優先の対策を行って欲しい。</p>	<p>地域の行事への参加を継続していく。 参加できない場合はセンターの行事や普段の支援で代替できるように計画を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議・地域懇談会等に参加できていない職員の参加機会を設ける。参加を通して地域との関わり、関係機関との連携について学びを深める。</p>	<p>管理者が中心に研修などに参加しているが、なるべく多くの職員が研修等に参加できるように調整することも大事だろう。地域との関わりや、制度等についての勉強にもなるので担当者会議等にも参加していけるようにして欲しい。</p>	<p>個人情報も強く謳われている時代でもある中で、運営推進会議に地域の事例が出る事も少ない。他の会議に出席していても地域の事例が出る事も少ない。もし事例があれば相談の場として活用も可能だと思う。</p>	<p>担当者会議、事前訪問、地域の研修へ職員が参加できるよう調整を行。参加した職員より伝達講習を行い学びを深める。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>緊急時、災害時に道路からセンターの入り口が分かりやすい様に工夫、検討を行う。</p>	<p>福祉避難所として使用できること、AEDの設置があることを案内板で知らせている。もっと周知をし、使用しやすい環境を作って欲しい。</p>	<p>福祉避難所として使用できること、AEDの設置があることを案内板で知らせている。もっと周知をし、使用しやすい環境を作って欲しい。</p>	<p>災害時のセンターの使い方を周知する。 災害時でも地域と事業所が互いに協力できるように普段の関わりを大事にする。</p>